

まちかど
ミニギャラリー



毎月JAなすの切花部会の皆さまから素敵な花をご提供いただいています。役場1階の町民ホールに飾ってありますので、来庁の際はぜひご覧ください。写真は追田原地区の生産者津田大樹さんの「りんどう」です。

那須自然百景

No.19 上の原の蓮



この花は陽山紅蓮(ようさんこうれん)という品種の「蓮」です。特徴として葉は円形で撥水性があり、花は手の平ほどのサイズから、大きいものだと直径80センチほどに成長するものもあります。水面から顔を出す葉や花は独特な雰囲気を出しています。

黒田原地区地域づくり委員会は、平成24年に休耕田に苗を植えるところからここまで大切に育ててきました。午前中の早い時間帯に見頃を迎えます。少し早起きして、上の原地区を訪れてみてはいかがでしょうか。

かつこう

かつて日本に「半ドン」という心躍る言葉があった。土曜は午前だけ学校や会社に行く。午後は休みの日をそんな風と呼んだ。普段どおり登校、出勤するものの、心もそぞろにお昼を迎え、それぞれの土曜の午後に繰り出す。週休2日制が導入された時は休みが増えたと喜んだが、今となっては、休みの日には得られな

いあの開放感が懐かしい▼半ドンが死語となり15年。経済産業省が打ち出した新語「プレミアムフライデー」。月末金曜は仕事を早上がりして、普段と違った週末を楽しもうというもの。公式サイトを覗けば、実施企業の取組みが半ドンの開放感を思い起こさせる▼町内ではプレミアムフライデーに、黒田原駅前前の活気を取り戻そうとするイベント「だつぱら駅前マルシェ」が開催されている。地域住民や仕事帰りの

人々が、ビールを片手にギターの演奏を聴き、焼き鳥やホタテ焼きの匂いに誘われ、屋台をまわる。黄昏時の黒田原に、いつもより何だか自由でのびのびとした時間が広がる。あの頃の土曜の午後のように▼夏至を過ぎて半夏生、小暑の七夕。暮れない夕暮れに時間を忘れ、いつの間にか現れた天の川を見上げる。笹の葉に短冊を吊るし願いを託せば、プレミアムフライデーはまだ先だけ、普段と少し違う夜に、心が開く。

こんにちは

赤ちゃん



渋井 慧人くん
(田中)

平成27年
8月21日生

父 有志さん 母 歩美さん

お外が大好きな慧人くん。強くたくましく大きくなってね。



薄井 道吾くん
(二枚橋)

平成27年
8月15日生

父 大樹さん 母 優さん

食べるのが大好きで毎日お兄ちゃんと仲良く遊んでいます。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(6月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,249世帯 (+10)
・人口 25,740人 (-35)
男 12,746人(-14) 女 12,994人(-21)